

平成 24 年度環境技術実証事業 自然地域トイレし尿処理技術分野
 技術実証検討会 第 3 回検討会 [議事要旨]

日時	平成 24 年 10 月 30 日(火) 15:00~16:45
場所	港区生涯学習センターぱるーん 305 学習室
出席者	検討員：相野谷誠志 (株) 蒼設備設計 設備設計部課長 岡城 孝雄 公益財団法人日本環境整備教育センター 企画情報グループグループリーダー 河村 清史 埼玉大学大学院理工学研究科教授 桜井 敏郎 (社) 神奈川県生活水保全協会理事 穂苅 康治 槍ヶ岳観光(株)代表取締役 吉田 直哉 神奈川県自然環境保全センター自然公園課主査 環境省：総合環境政策局総務課環境研究技術室調整係長(武部憲和) 自然環境局国立公園課公園事業専門官(杉野政弘) 自然環境局自然環境整備担当参事官室計画係長(広野行男) 実証機関：特定非営利活動法人山の ECHO(上幸雄、加藤篤、平澤恵介)
欠席者	検討員：木村 茂雄 神奈川工科大学機械工学科教授
議事	(1) 実証試験の進捗状況の確認(非公開) (2) 自然地域トイレし尿処理技術セミナーの開催方針の検討 (3) その他
配布資料	資料 1：仕様人数の推移と日常管理チェックシート 資料 2：水質分析結果 資料 3：電力使用量 資料 4：現地調査報告 資料 5：第 3 会自然地域トイレし尿処理技術セミナーの実施概要案 資料 6：アンケートの実施について(案) 資料 7：自然地域トイレし尿処理技術実証申請書 資料 8：技術実証検討会による申請技術についての確認事項
公開/非公開	議題 1(資料 1~4,7~8)は非公開 (傍聴者：大化産業株式会社 坂本 幸久)

[議事要旨]

(1) 実証試験の進捗状況の確認（非公開）

(2) 自然地域トイレし尿処理技術セミナーの開催方針の検討

資料5：第3回自然地域トイレし尿処理技術セミナーの実施概要案

自然地域トイレし尿処理技術セミナーは、環境技術実証事業の一般への普及を目的とし、アンケート調査実務よりも広報的な内容を主眼としている。

広報面では、ガイドブックを活用して技術をどのように普及できるかに力点をおく。

- 参加募集团体（自治体、民間企業、山小屋経営者、山に関連した NGO や山岳団体、民間団体等）にどのように宣伝した方が良いか検討する。
- 案内配信にかかる予算を抑えるため、メールで送る方法も検討する必要があるとの意見があった。
- 自然保護課だけでなく、観光課への情報提供についても検討した方が良いとの意見があった。
- 実証事業で本年度の実施が必須となっている「技術相談会」については、セミナーに併設する形で行うとの意見があった。
- 現状では、ガイドブックは環境省参事官室の HP からのみのアクセスしかできないため、今後は環境省 HP の改善、山の ECHO の HP、さらに個別に掲示したい場合にバナーを貼る等で広く対応できるような対策が必要であるとの提案があった。

(3) その他

アンケートについて

資料6：アンケートの実施について（案）

- 情報収集だけでなく、可能であればこれまでに行った実績など、環境技術実証事業についてのインフォメーションを資料として含める必要があるとの意見があった。
- 調査対象地域には、海、海岸、離島も含まれるため、山岳トイレだけでなく、自然公園の海域を含む地点も対象とする
- セミナーと同様、配信にかかる予算を抑えるため、メールで送る方法も検討する必要がある。

今後の予定

2012年 11月 22日（木） 第4回検討会 14時～16時半

- ・ 資料5, 6についてより詳細に確認する
- ・ 当日までに環境省へメール案を送付

12月上旬 セミナーの開催案内・アンケートの発送

2013年 2月 5日（火） 第3回自然地域トイレし尿処理セミナーの実施

3月末日迄 最終報告書の提出

以上